

会 議 録

会議名	令和3年度 第10回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局	児童青少年課
開催日時	令和4年1月25日(火) 19時00分～20時00分
開催場所	オンライン会議
出席者	鈴木委員長、下田副委員長、大澤委員、中山委員、鈴木委員、松川委員、田畑委員、田口委員、沢村委員、大島委員、大村委員、馬場委員、野村学童保育係長(事務局)
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和4年度入所児童数見込み</p> <p>(2) 令和3年補正予算について</p> <p>(3) みなみ第三学童について</p> <p>(4) みなみプロポーザル仕様書の変更点</p> <p>(5) 補助員の導入について</p> <p>3 閉会</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・読み原稿 ・【資料3-27】令和4年度入所児童数見込み
議事	<p>1 開会</p> <p>(1) 鈴木委員長より挨拶、議題の紹介</p> <p>(2) 事務局より注意事項の伝達</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和4年度入所児童数見込み</p> <p>(市)</p> <p>令和4年度入所申請数は令和3年12月28日現在1,435名。前年度1,287名より148名増。例年ここから、転居や取り下げなど多少の増減が見込まれる。</p> <p>(学)</p> <p>例年申込に比べて実際の入所数は減ると思うが、今回の申込数は見込みから大きく外れてはいないのか。</p> <p>(市)</p>

外れてはいない。

(学)

施設の増設等の対応予定は。

(市)

対応はみなみ学童のみで検討している（議題(3)）。学校の長寿命化の対応もあるのでたまむし学童は現施設で運営する予定。

(学)

たまむしが大幅増だが、何らか対応は検討されているのか。定員130名（90+40）で現在173名、今回の申込数216名だと定員より86名を超えることとなる。これで現有施設でというのは無理があるのでは。来年度も増えるとなるとさすがに厳しい。第4含めて検討しなければならなくなるのでは。

(市)

たまむし学童の現在使っている第3学童の部屋は普通教室の1.5倍ある。予想以上の申し込みがあったのは確かで、200名越えは想定していなかった。部屋の追加は学校側とも折衝して検討したが、ハードの準備ができなかったというのが実情。小金井市の学童は全入を維持していることもあり、新施設の基準である一人当たり専有面積1.65m²を守れないところが出てきている。

(学)

第3、第4などの増設を検討する基準はあるのか。

(市)

これまで超過が40名を超えたら対応してきたが、学校の教室の利用も厳しくなっている。学校の施設利用、民間の土地・建物の借用などを関係部署と折衝して検討し続けている。公共施設の計画全体の一部ということもあり難しい一面はある。大規模化への対応は、学校施設の利用、民間・民設民営を利用、増築を選択肢として考えていくことを基本としている。

(学)

毎年生じる問題なので、夏ぐらいに大規模化の見込みを示していただくと建設的な議論ができるのでは。利用している側としても手狭になっているなど伝えたいことはある。

(市)

入所申込が終わった段階で人数が確定するので、その前にというのは難しいが、引き続き意見交換していきたい。

(学)

住む地域によっては隣接の別の小学校入学を選択してもいいと聞いたが、その場合実際に通う学校の学童に申し込むのか。

(市)

実際通う学校の学童に申し込むことは可能。区域外通学の影響は一部あるかもしれないが、大きな影響はないと考えている。

(学)

今回の申込数に対応して、職員加配になる学童はあるか。

(市)

学童保育所には人数を伝えており、加配が必要なところには手続きを進めていただいている。

(学)

申込人数のデータを父母会で共有してよいか。

(市)

2月7日には議会の委員会資料として公にはなっている。その後は公表扱い。

(2) 令和3年補正予算 について

(学)

今年度の補正予算の確認をしたい。三多摩で話題に出たが、厚労省の予算で保育施設のICT整備の補助金が出ているようだが、小金井市で学童用に使う予定はあるか。あと、小金井市とし

ての補正予算の対応予定があれば教えてほしい。

(市)

厚労省の予算は保育園を想定しているという理解（行政間の通知は来ていない。ホームページで確認したが、再度確認する）。市としての補正予算はみなみ第三学童の準備で考えている。

(3) みなみ第三学童について

(市)

みなみ学童について、第三学童として来年度学校内の特別教室を借用することとした。具体的には、くじらぐもプレイルームをメインルームとして、4階の家庭科室をサブルームとして使用を予定。使用時間は放課後から。運営はみなみ学童、開始は来年度4月から。2月の正式な発表前は運営協議会内にとどめてほしい。

(学)

第三学童の定員は40名か。

(市)

定員は40名、職員は4名の予定。

(4) みなみ学童プロポーザル仕様書の変更点

(市)

現在仕様書改定案を準備中。次回の運営協議会にて提示予定。

(学)

変更点は。

(市)

みなみ第三学童追加、補助員の導入、消耗品・医薬品・修繕費など。

(学)

さわらびも変更点は同じか。

(市)

補助員の導入、消耗品・医薬品・修繕費の扱いの点で同じ。

(5) 補助員の導入について

(市)

雇用、採用条件など引き続き検討中。

(市)

指導員より補足。無資格者の雇用は直営では経験がないので委託事業者に意見を聞いている。募集は、一定期間は有資格者、応募がなかったら無資格者を含めての募集に切り替えるという案だったが、事業者によると、そのやり方だと無資格者も応募がなくなる可能性があるので同時募集のほうがよい。募集、質の担保の方法ともに検討していく。

(学)

以前提示された以下の採用3条件は同じか。

- (1) 大学（短期大学・大学院、専門学校）に在学中もしくは卒業した者。
- (2) 高校卒業以上で、児童福祉関連施設での実務経験が2年以上ある者
- (3) 高校卒業以上で、子育て経験がある者

(市)

2番目は有資格者の要件になっているので無資格者の要件としては外れる予定。

(学)

以前の案で100名を超える部分、140名を超える部分を加配とするという基準が示されたが、それは同じか。定員や在籍児童数が200名近い学童もあるので、現状から無資格者が一気に増えるケースがないか気になっている。

(市)

基本配置は有資格者、加配（定員と障がい児両方）が無資格者という考え方は同じ。さわらびとみなみでまずはスタートするので、100名を超える部分は20名程度になることを想定してい

る。

(学)

障害児の加配部分で無資格者ということではなかったか。

(市)

人数、障がい児とも加配部分は無資格者を想定している。

(学)

業者の意見は聞いたか。

(市)

資格要件を緩和してほしいという意見は聞いている。

(学)

雇用は年度ごと更新か、長期なのか。

(市)

業者の人事条件は不明。採用条件は各運営母体がそれぞれもっている。

(学)

来年度実際に無資格者雇用を導入した業者からフィードバックをもらう予定は。

(市)

初めてなので2所からスタートして振り返りをしたいと考えている。運営協議会でも共有する。

(6) その他

(学)

ほんちょう学童のトイレは男女別になるのか。

(市)

スペースの問題で入口は共通、中で別れる形。

(学)

他の学童でもトイレの改修が入っている。図面共有してもらえるか。

(市)

関係部署と調整する。

3 閉会

次回の小金井市学童保育所運営協議会は2月22日（火）19時を予定